

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)	
昭和村	③学校と家庭 の課題	放課後等にお ける多様な体 験活動	子どもたちが地域社会の中 で、心豊かで健やかに育まれ る環境づくりを推進するため、 放課後子ども教室という、安心 安全な子どもの活動拠点(居場 所)を設け、地域の方々の参画 を得て、子どもたちにスポー ツ・文化活動・地域住民との交 流活動などの機会を提供して いるが、協働活動サポーター の人数の減少により、実施回 数の減少や協働活動支援員 の体力的・心理的な負担の増 加が課題となっている。	・現サポーターから紹介 して頂き、活動の見学か ら参加してもらい、サ ポーターの登録に至っ た。 ・学期ごとに発行してい るおたよりで募集をかけ た。	・地域学校協働活動推進員の委嘱を行 い、学校運営協議会とも連携することで、 関係者のつながりを広げ、新たな人材を 発掘していく。	・サポーターの人数の増加によ り、事業の実施が安定する。 ・見守りの目が増えるため、子ど もたちがより安全に活動できる。 ・協力者の輪を広げ、地域で地 域の子どもを守り育てるという住 民意識が向上する。	協働活動サポーター の人数	27	人	30	27	02 本 年度の目 標値を下 回り、取 組の工夫 改善が求 められ る	・今年度は加齢や体調等を心配して辞めるサポーターもい たが、同じ人数だけ新規のサポーターが追加となり、現状の 数値を保持することができた。また、サポーターによる紹介 制度は効果が見られた。 ・来年度からは地域学校協働活動推進員の委嘱を行うこと で、学校運営協議会の機能を活性化し、現状のつながりを 大切にしながら、新たな人材の確保にも努めていく。